「令和7年度和歌山県データを利活用した公募型研究事業」 業務仕様書

1 業務の目的

和歌山県では、「日本のデータ利活用拠点」としての取組を総務省統計局・独立行政法人統計センターと連携して推進するため、令和3年4月に新たに「和歌山県データ利活用推進プラン」を策定した。

今後、統計的思考やエビデンスに基づく行政を推進していくため、本県が抱える具体的な課題に対し、データを利活用した高度な現状分析を実施し、得られた新たな知見を県の施策に反映する。

2 履行期限

最長 令和9年度末

3 業務内容

県が設定する研究課題について関係するデータを必要に応じて収集し、分析するとともに、問題が生じている要因の分析や課題解決に資する効果的な施策の提案等に関する研究を行う。

・研究課題 熊野白浜リゾート空港の利用者増に向けた調査研究

各種データ（※）をもとに、現状の空港利用者の属性や特性を把握するとともに、得られた結果から高度な解析と考察を行い、新たな利用促進施策の提案等を行う。

（※）県が提供する各種データは次のとおりであるが、受託者が収集するデータ等の活用を妨げるものではない。

（1）令和4年度南紀白浜空港の利用に関するアンケート調査（和歌山県）

〔調査内容〕

ア 空港利用者調査

- ・回答者の年代、居住地
- ・旅行目的や同行者の人数、目的地、宿泊日数
- ・熊野白浜リゾート空港へのアクセス方法と改善点
- ・増便の利用意向
- ・空港施設・サービスの改善点
- ・搭乗日（利用日）

イ 企業調査

- ・東京方面の出張の有無
- ・出張での航空機の利用状況
- ・羽田空港発着のダイヤの利便性

- ・新規就航路線の希望・乗継利用
- ・空港施設・サービスの改善点
- ・コロナ禍以前や今後の出張回数

(2) 航空旅客動態調査（国土交通省）

(https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk6_000001.html)

- ・出発地、出発空港、乗換空港、目的地、目的空港、旅行目的、個人属性等

(3) 熊野白浜リゾート空港利用者アンケート（和歌山県） ※実施中

※和歌山県外から県内の来訪された方を対象

- ・来訪時の交通手段
- ・住んでいる都道府県、年齢、職業
- ・旅行の目的
- ・同行者の属性、人数
- ・宿泊日数
- ・旅行における総支出金額
- ・主な支出金額（どこで、何に、いくら）

4 業務実施におけるその他の条件

(1) 県との打合せ

研究の実施にあたっては、適宜、県との打合せを行うこと。

(2) 報告書の提出

受託者は各年度の3月末（ただし、研究最終年度は2月末まで）に、研究の成果について、報告書（分析に使用した資料やデータ、その他の成果品一式を含む。）を電子ファイルで提出すること。

(3) 研究成果報告会への出席

県において研究成果報告会等を開催する場合には、研究代表者は成果発表等に協力すること（旅費別途支給）。

5 その他

(1) 本業務の実施にあたって個人情報を取り扱う場合には、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他個人情報の保護に努めること。

(2) 受託者の責による事故等により発生した損害は、受託者が負担するものとする。

(3) 本仕様書に定めのない事項であっても、本業務を遂行するために県が必要と認め指示する簡易な事項については、受託者は契約金額の範囲内で対応すること。

(4) その他、本仕様書に記載のない事項に関して疑義が生じた場合は、県と受託者において別途協議のうえ対応するものとする。